

令和 2 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：令和 2 年 10 月 15 日（木）14：00～16：10

場 所：琉球大学病院 3 階がんセンター

出席者：10 名

仲宗根恵美（那覇市立病院）、金城美奈子（県立八重山病院）、中山富美（沖縄県地域統括相談支援センター）、伊波善之（沖縄県健康長寿課）、増田昌人（琉球大学病院）、大久保礼子（琉球大学病院）、山田綾美（琉球大学病院）

〈Zoom 参加〉

傳道聡子（県立中部病院）、宮城郁美（北部地区医師会病院）、島袋百代（ハンキヤンシヤハン沖縄アフェリエート）

陪席者：2 名 東恩納貴子（那覇市立病院）、有賀拓郎（琉球大学病院）

欠席者：2 名 慶田博子（県立宮古病院）、樋口美智子（沖縄国際大学）

【報告事項】

1. 令和 2 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨
資料 1 に基づき、令和 2 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。
2. がん患者ゆんたく会（6～9 月）
資料 2 に基づき、令和 2 年 6～9 月に琉大病院で開催されたがん患者ゆんたく会について報告があり、新型コロナの影響で開催中止した拠点病院は口頭で現在の状況や開催の見込みについて報告があった。
県立中部病院では、2 月から中止しており、毎回参加していた方へ栄養士からのチラシを添えてお便りを送付しており、1 件の返信があった。院外での開催を検討し場所の下見までしたが緊急事態宣言のため保留になっていると報告があった。
那覇市立病院では、予定していた開催場所が新型コロナ対応のため確保できず、開催の目処は立っていないと報告があった。電話相談より実際、会に参加して話を聞きたいといった次回開催についての問い合わせもあったとのことだった。
琉大病院で、一般参加者 10 名と人数制限をして 7 月に開催できた。ピアサポーター 5 名の参加もあり、久々の開催で参加者は活発に意見交換を行っていた。6 月、8・9 月は新型コロナの影響で中止し、10 月は開催できたと報告があった。

3. がん相談件数（6～9月）

資料 3-1～3-6 に基づき、令和 2 年 6 月～9 月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。

北部地区医師会病院では、継続相談で介護保険の申請や在宅での療養環境の調整が多かったと報告があった。

県立中部病院では、ゲノムの相談が増加傾向にあるが、8 月は外来患者数減少に伴い相談も少なかったと報告があった。

那覇市立病院では、がん専門看護師が在勤することでがん治療の相談ができるようになってきており、担当医への周知が高まり、直接案内されて相談に繋がるケースが増えてきていると報告があった。

県立八重山病院では、新型コロナの影響で面会禁止となっており、リモート面会の調整等で入院患者との関わりが増え、ターミナル期に関しては 2 名までの付き添い可能だが早めの在宅調整が続いている。8 月は島の社労士との面談を 2 回実施したと報告があった。

琉大病院では、院外からの相談が 2 桁になっており、ゲノム外来の影響や在宅調整後の相談継続が多く、新型コロナの影響か漠然とした不安を抱えた相談があり相談時間が長くなる傾向があったと報告があった。

増田委員より、各月の傾向やトピックがあれば赤字で示すよう提案があった。6 拠点病院全体の分析、各施設での分析があれば外部への周知にもなると意見があった。年度末に報告できるように検討することとなった。

4. がん相談件数集計（6～9月）

資料 4 に基づき、山田委員より令和 2 年 6 月～9 月の沖縄県がん相談件数集計について報告があった。各月 600 件前後を推移しており、ゲノム医療に関する相談が全体的に増加傾向にあること、担当医からの紹介も増加していると報告があった。全体件数のまとめ方については検討していくこととなった。

5. がん相談支援センターの広報

資料 5 に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報について報告があった。引き続き無料広告依頼するが、文言の変更等あれば連絡するよう案内があった。

6. 地域統括相談支援センター活動報告

資料 6 に基づき、中山委員より地域統括相談支援センターの活動報告があった。6～9 月の相談件数は計 32 件となっており、新型コロナの影響で病棟へ上がることができず 3 分の 1 程度減少している。外出する機会が減り家族にも相談できないが経験者になら話せるなどの電話相談があったと報告があった。また、イベントに関しては 7

月の琉大ゆんたく会へピアサポーターの派遣、8/1 にがんピアサロンを開催したが、非常事態宣言発出のため、予定していた参加者の辞退もあった。10月は石垣にてがんピアキャラバンを予定しているとのことだった。

7. 第1回がん相談員実務者研修会

資料7に基づき、山田委員より第1回がん相談員実務者研修会について報告があった。9月27日(日)琉球大学臨床講義棟1階小講義室にて、「終末期がん患者の意思決定支援」をテーマに開催された。今回、新型コロナの影響により講師の小澤先生(エンドオブライフ・ケア協会代表理事)はZoomを用いての遠隔講義、参加者は集合研修とし、34名の参加があった。講師とフロアの温度差もなくロールプレイもスムーズに実施でき、参加者の満足度は高い評価だった。

増田委員より、アンケート座標を「よくできた/できた/少しできた/わからない/できない」と良い方を3段階評価を行い、その上で「よくできた/できた」の合計で研修会を評価していくと良いと提案があった。

8. 「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」に係る研修支援について(意見照会)

資料8に基づき、伊波委員より「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」に係る研修支援について(意見照会)報告があり、ピアサポートの活用を促す研修会の開催について協議が行われた。県では、部長クラスの医師への研修会を検討している。有賀氏より、忙しくしている医師を対象とし、業務軽減の視点から患者の不安への対応をピアサポートや相談センターへ繋げる体制を整えるのはどうか提案があった。研修会のチラシの文言の工夫が必要ではないか、緩和ケア研修会の患者体験発表のなかでピアサポートの活用の説明を加えても良いのではないかな等の意見もあり、伊波委員が県へ持ち帰り検討することとなった。

9. その他

当日資料に基づき、大久保委員より九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムの開催中止について報告があった。佐賀県にて昨年度開催予定であったが中止となり、今年度も中止となった。

【協議事項】

1. 第2回、第3回がん相談員実務者研修会について

当日資料に基づき、傳道委員より11月7日に第2回がん相談員実務者研修会を開催すると報告があった。琉大病院 銘苺桂子先生のビデオ講義と県立中部病院 大畑尚子先生をアドバイザーとして招きワークショップを行う集合研修を予定している。

2. 今年度の事業計画について

資料 9 に基づき、今年度の事業計画について協議が行われた。患者サロンネットワーク会について、Web 開催を検討し、コロナ渦でサロン開催において工夫している点や患者相談でどのように対応しているのかなどのテーマも含め、開催を検討することとなった。

3. 相互訪問について

当日資料に基づき、大久保委員よりがん相談支援センターの相互評価について提案があり承認された。PDCA の還元サイクルを回すことを目的に、国がんのチェック項目を参考に相互評価することとなった。まず今年度は、琉大病院を県立中部病院と那覇市立病院が評価し、運用が上手く行けば規模拡大していく。日程の詳細は、メーリングで調整することとなった。

4. 現況報告

資料 10 に基づき、増田委員より今年度の現況報告について説明があった。各施設でチェックした項目について、院内会議等で報告するよう周知があった。判断に困った項目等あれば、引き続き部会で共有し対応方法を検討する。

5. ロジックモデル

資料 11 に基づき、増田委員よりロジックモデルについて説明があった。県計画に基づいて施策を実施する際の目安となり、最終アウトカムを 6 年後のあるべき姿とする。各分野目標が最終アウトカム、施策が中間アウトカムを指し、この施策を意識して部会計画を立てるよう提案があった。また、具体的に誰が何を実施するのかというアクションプランを各施策に対して作成する必要がある。相談支援に関する施策として、「すべての患者に対し、十分なインフォームドコンセントを必ず行う」「セカンドオピニオンを取ることを積極的に推奨する」「アドバンスケアプランニングを行う」等が挙げられている。また、国がんが実施した患者の体験全国調査に関する情報共有があり、質問等あれば増田委員へ連絡することとなった。

6. その他

(1) 次回開催について

令和 3 年 2 月 4 日（木）に開催することとなった。新型コロナの影響をみて Web 開催も検討する。